

特別展示 水墨作家 堂野 夢酔作 14面襖絵

『双龍風雷圖』特別公開

秋の特別拝観 **11月18日(土)~26日(日)**
 展示期間 **お正月三が日 1月1日(月)・2日(火)・3日(水)**

本堂龍華殿に配置される水墨作家堂野夢酔氏の作品「双龍風雷圖」の14面襖絵を特別拝観期間中及びお正月三が日に特別公開致します。

『双龍風雷圖』製作に寄せて

深い歴史に刻まれた名刹「雲龍院」その本堂である「龍華殿」の襖絵構想は寺号を代表する双龍を描くことが主眼であります。

しかし寺の歴史は仏教を広め安寧を願われる歴代天皇の御心が写経道場として今日に受け継がれている厳肅な事実です。

このような背景を鑑み、釈迦如来が宇宙の森羅万象の中で悟りを開かれその真理を人々に教え語り継がれた般若心経を取り入れる事にしました。

人間社会に起こる喜怒哀楽、自然の猛威など様々な畏敬の念を風神が起す竜巻、雷神の発す稲妻雷鳴の渦中に阿龍と吽龍が吠え舞う姿を象徴として描き、総ては宇宙の森羅万象の中にある般若心経が諭し宇宙全体を表す盤石の円相を中央に配す構想にしました。

作成中、雷神(吽龍)を描き始めたとき大きな雷鳴が響きました。そして原画を雲龍院に搬入した日も雨が降り、奉納入

魂式も雨…龍が雲を呼び自然を動かしているような錯覚を覚えます。

制作中は絶え間なく般若心経など各種のお経を聞き一筆一筆に入魂し今できる私自身の全エネルギーを絵筆に注ぎ込んだつもりです。

奉納入魂式は雲龍院本堂・龍華殿正面に配置された襖絵除幕に続き御寺・泉涌寺大僧正の上村長老、雲龍院の市橋ご住職による荘厳な入魂読教、茶道扶桑織部家元の尾崎宗匠による献茶、篠笛と和太鼓の演奏奉納と続きました。

静かな東山境内に響く和太鼓に襖の龍が飛び出すようでした。

構想から製作、奉納まで一連の中に携わって来ましたが、すでに私の手を離れ雲龍院で世の平穏を見守り続ける『双龍風雷圖』に手を合わせています。



堂野夢酔氏略歴

- 1944 兵庫県生まれ
- 1967 大阪工業大学卒業
- クローリー株式会社に入社
- 1987 通芳から石目失明・療養中に少年時代から憧れていた宮本武蔵を追い水墨画独学
- 1990 大阪・花の万博の仕事で教育評論家 阿部進氏と親交
- 1992 事業中止で自失し放浪…阿部氏の応援で水墨再開
- 1994 全国のデパートや公共施設などで個展をはじめ
- 1996 退職し水墨画専心・神戸で震災復興チャリティー展
- 1997 ギャラリー「夢酔庵」竣工
- 1998 阿部氏と「カバと夢酔の二人旅」を始め、学校や施設を訪問
- 日本経済新聞が夢酔を連載報道
- 2000 「夢酔庵」第2会場整備サーティ生誕250年祭の文化使節団で訪独
- 2001 京都高台寺にて夢酔特別展が開催され26万人が来場
- 2004 全国の夢酔展、100回をこえる
- 2005 絵本に水墨画を描き始める
- 2006 西条10周年で地元と東京(日本橋三越本店)で記念展
- 2008 トイツ・メクレンブルク州「シュロスミツコ」で半年にわたり夢酔展
- 2009 初の自宅ギャラリー「夢酔庵のおもてなし」を自主企画開催

合掌



重要文化財指定 本堂 龍華殿

昭和四十一年に重要文化財に指定された本堂の龍華殿は、さわら材を竹の釘で打った雄大なこけら葺きで今ではたいへん貴重なものとなっています。雲龍院は、南北朝時代の後光厳天皇と三代にわたる菩提寺で、特に後円融天皇が写経の功德をご信奉になり、如法写経を発願され、それ以降如法写経の勤修は雲龍院に受け継がれております。



雲龍院 本尊 薬師如来三尊像

「お薬師さん」の愛称で知られる薬師如来は、琉璃光王や大医王尊などと呼ばれることがあ

り、お医者様の役目を果たす現世利益の仏として親しまれてきました。当院は、西国薬師霊場第四十番札所で、藤原時代作の本尊薬師如来坐像を中心に日光・月光両菩薩を両脇に安置記られています。

天皇発願の写経道場 雲龍院お写経体験

雲龍院では、写経道場でお写経をいただけます。香で手を清め、朱墨で写経を行い、最後にお庭を見ながら抹茶やお菓子を頂きます。お写経に使用する机は、後水尾天皇によって寄進された机です。

- お一人様1500円(拝観・抹茶料込)
- 特別拝観期間中は霊明殿で行います
- 受付は午後3時30分迄(予約不要)



12月23日(土・祝) ひと文字写経奉納

今年一年の無事御礼と、来年の無病息災を願った雲龍院の年末恒例行事の薬師御用納め「ひと文字写経」を、雲龍院薬師三尊にお納めして頂きます。【一般拝観は休止致します】



成人の日は泉涌寺七福神巡り 走り大黒天

泉涌寺の新春恒例行事の七福神巡り。雲龍院では台所に大黒天を祀っております。彼の上に昇った長者の大黒様とは異なり、大きな袋を背負ったわらし履きの大黒様が、いち早く皆様方へ幸福をもたらしてください。【一般拝観は休止致します】

雲龍院の見どころ 年末年始行事ご案内



雲龍院公式 WEB サイト

雲龍院 検索

<http://www.unryuin.jp>



雲龍院



雲龍院



雲龍院

